

活動テーマ

みんなで達成しよう！2030 SDGs

—河西小 ESD スタートアップ from4年生—

実践事例について

本校は校区が野洲川に隣接し、また、学校の敷地内には学校ビオトープも整備されており、自然環境豊かな中で、日頃子どもたちが学校生活を送っている。エコ・スクール初年度である今年度は、学校ビオトープや野洲川等の環境を活用し、第4学年で実践を行った。今注目されているSDGsを取り入れ、理科や総合的な学習の時間においてESD学習を進めた。

1. 学校ビオトープを生かした学習（理科）

本校の学校ビオトープは地域のボランティアの方々や愛校活動での保護者の協力をもとに環境が整備されている。生活科や理科の学習での活用はもちろんのこと、休み時間の子どもたちの生き物さがしの場として、また憩いの場として活用されている。



ただ、学習の中でどのような位置づけで活用するかということは、まだまだ校内でも考える余地があり、第4学年でははじめに理科での活用を試みた。理科「季節と生物」の学習では、春夏秋冬の季節による生物の様子の違いについて、学校ビオトープの観察によって確かめた。確かめたことをもとに、学校ビオトープの地図にシールをはったシートを重ねてどのような生物がいるかとういことを、学級のみみんなで共有した。子ども



もたちは学校ビオトープに、これだけの多様な生物が存在しているのかということに驚き、今後の学習への意欲を高めることができた。その後、同じように季節ごとに観察を進め、季節による生物の様子について理解を深めることができた。

2. 森林環境学習「森林の良さを伝えよう」（総合）

2学期に実施する第4学年「やまのこ」学習に合わせて、野洲川の水源涵養として機能を果たす森林の役割について、自分たちが興味をもったテーマを設定し、主体的に調べ学習を進めた。

テーマ一覧

- ・森林の生き物
- ・地球温暖化について
- ・森林が水をたくわえることについて
- ・森林が災害を防ぐ役割
- ・森林の木を使って作られているもの
- ・森林でとれる食べ物
- ・森林の遊び
- ・森林の仕事
- ・滋賀県の森林など

子どもたちが学習を進めるにあたり、「やまのこ」学習での森林の見方や、森林の役割について、滋賀大学環境学習支援士の方々に来校していただき、ワークショップ形式で授業をしていただいた。子どもたちは「やまのこ」で実際に森林に触れた時、その時教えていただいた知識を振り返りながら活動することができた。学習の終末には興味をもって調べてきたことを壁新聞としてまとめることができた。



危険個所の確認等を行った。また、県外の防災教育の指導者や地元大学の先生に来ていただき、災害が起きた時に自分の身を守るためにはどのような知識や姿勢が必要かということ、演習を含めて教えていただいた。



災害について学んだことの中で、全校のみんなに知ってもらいたいことをまとめ、全校集会で発表し、防災への啓発活動も行った。



子どもたちはこの学習を通して、身近に災害が起こりうるものとして認識し、今後災害から身を守るにはどのように生活すればよいか、考えることができるようになった。



4. 実践の成果と河西小 ESD の展望

本実践では ESD をテーマにして、本校の環境を生かした実践を行ったが、実際進めてみると、子どもたちはグローバルな課題と、地元にある身近な要素を結び付けながら考える姿が多く見られた。

今年度は第4学年中心の取り組みであったが、まとめを掲示したり、全校集会で呼びかけたりするなどして、全校に対する啓発活動を行うことができた。

今後は第4学年のスタートアップをきっかけに他学年でも実践が進められるような環境をつくっていきたい。

3. 防災学習「災害から身を守ろう」(総合)

2学期の社会科「わたしたちの郷土を守る(野洲川)」で野洲川での水害・改修の歴史や地元の人々の思いを学習したことをもとにして、3学期は防災学習「災害から身を守ろう」に取り組んだ。

地震・水害をテーマにして、地震が起こるメカニズムや避難の方法、またハザードマップによる

学校名	守山市立河西小学校
住所	守山市小島町1843
電話番号	077-582-2174
E-Mail	kawasyo@city-moriyama.ed.jp